



新年あけまして おめでと〜ございませう



旧年中は当記念館に対し、ご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。ごさいませう。

本年も皆様に愛される記念館を目指し、催し等を企画・運営をしてまいります。どうか昨年同様、皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。



今年も皆様に愛される記念館を目指し、催し等を企画・運営をしてまいります。どうか昨年同様、皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

今年も皆様に愛される記念館を目指し、催し等を企画・運営をしてまいります。どうか昨年同様、皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

どうかよい年に なりますように

歴史上の出来事には、よく干支が使われています。壬申の乱や戊辰戦争などがそうです。

また、高校野球でお馴染みの阪神甲子園球場も、完成年の大正13年(1924年)、「甲子(きのね)」にちなんで名付けられました。この年は、「甲」、「子」とともに、「十干」、「十二支」の一番目なので、60年に一度の縁起の良い年だということと命名されたそうです。

しかし、今年の「己丑(つちのうし)」も60年に一度ということでは同じです。どうか縁起の良い年になりますようにと願わずにはいられません。

くによはん覚書

牛との関わりについて

古来、日本人にとって牛は身近な存在でした。平安貴族の乗り物は牛車でしたし、本当の面白さを意味する「醍醐味」の「醍醐」は、牛乳から作られたといわれています。

また、農耕において牛が果たす役割は大きいものでした。そのため、「人間が牛と話をする特別の言葉が、少なくとも五つはある」(柳田國男著『方言と昔』朝日新聞社)そうです。さらに、牛のことを「ベコ」といいます

が、これは、「鳴き声から出た語であらう」と柳田國男は推測しています。犬や猫をその鳴き声から、「ワン」「ニャン」というように、「ベコ」も鳴き声が由来だと思つと、牛がより身近に感じますね。



企画展のお知らせ

来たる2月14日(土)〜3月22日(日)、企画展を開催します。詳細は来月号でお知らせします。が、兵庫県立人と自然の博物館のご協力を得て、五年にちなんだ展示を予定しています。

3月15日(日)には、謎の講師、河南堂珍元齋氏による、柳田國男著『蝸牛考(かぎゅうこう)』の講演や、『蝸牛考』の方言圏論を証明した「アホ・バカ分布図」でたくさんの賞に輝いた朝日放送『探偵ナイトスクープ』プロデューサー松本修氏の講演、ひとはく研究員の鈴木武氏によるカタツムリセミナーなどを企画中です。

乞うご期待ください。



顕彰会会員募集と更新のお願い

柳田國男・松岡家顕彰会では、会員を募集しております。ひとりでも多くの方にご加入いただき、ご支援をいただければ、心よりお願い申し上げます。

また、去年12月末日に更新時期を迎えられた会員様につきましては、更新していただき、引き続き温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

法人会費 一〇、〇〇〇円
個人会費 一、〇〇〇円

ご利用案内

【開館時間】
午前9時〜午後4時30分

【休館日】
月曜日・祝日の翌日、12月28日、1月4日

【入館料】
大人200円 (団体割引は学生150円 20名以上) 小人100円

会員募集中!
会員の方は更新をお願いします。

